

2019年度 西蒲区社会福祉協議会 基本方針・重点目標

【基本方針】

我が国では、少子高齢化が急速に進展するとともに、単身世帯の増加、地域のつながりの希薄化など急激な地域社会の変化によって、社会的孤立世帯、引きこもり、貧困の連鎖、認知症問題など様々な課題が顕在化しています。

また、西蒲区では、生産年齢人口の減少をはじめ、区全体の人口減少や高齢者の増加等により、地縁的なつながりは徐々に希薄化しコミュニティの維持が困難になると予想されています。

このような状況を踏まえ、西蒲区社会福祉協議会では、地域のあらゆる方々が住み慣れた地域で安心して豊かに暮らせる「お互い様の地域づくり」を推進するとともに、特に人口減少を踏まえ、高齢者がこれまで社会の様々な分野の第一線で活躍してきた経験を活かし、役割、やりがい生きがいを持って生き生きと活躍できる取り組みを進めます。

また、支援を必要とする住民（世帯）が抱える多様で複合的な課題や制度の狭間にある課題に対し、地域住民や福祉関係者による連携等を強化し、解決できる仕組みづくりを目指します。

【重点目標】 総合計画（基本目標 I 方針 2 ）

1. 出会い・学び・協働を生み出す場づくり

あらゆる方が自ら進んで社会参加し、意欲と能力を発揮し、各地域で地域の支えあい助けあいの仕組みづくりが取り組めるよう、人材育成や活躍できる場の提供を行います。

○男性シニア地域活動応援事業

定年退職したことで社会参加機会が減少している団塊の世代をはじめとするアクティブシニアの発掘・育成そしてセカンドステップとして、これまでの人生経験を活かした活動を地域で発揮していただくことを目的に開催します。

○福祉教育推進事業

子どもたちの学びの支援と地域住民に対する生涯学習の視点で、地域に住まうあらゆる方々を対象に、多様性を認め合い「共に生きる力」を育めるよう人材育成を行います。

【重点目標】総合計画（基本目標 Ⅱ 方針 1 ）

2. 社会的援護が必要な人を支える仕組みづくり

丁寧な個別支援を通じた、多様で複合的な課題に対し、他機関協働による課題解決のための新たな社会資源の開発によって、支援を必要とする住民（世帯）の地域生活を支える仕組みづくりを行います。

○コミュニティーソーシャルワーク推進事業

C S Wが個別支援を通じ表面化した多様で複合的な課題等に対し、確実に支援につなげるため、他機関協働による包括的支援体制の構築を行います。

○地域共生型あぐり事業

シニアの生きがいの場、認知症の方の通いの場や引きこもりの方の就労準備前の訓練の場等、あらゆる課題を解決する多機能型拠点を整備し、社会的課題解決に向けた新たな取組を行います。